

衣替えの季節

衣替え。いつの頃からかあまり使われなくなった気がします。

国語辞典などで調べると、もともとは（平安時代ごろ）、陰暦の 4 月 1 日と 10 月 1 日に夏服と冬服を変えるしきたりがあったそうです。それを現代では 6 月 1 日と 10 月 1 日に会社や学校などで夏服と冬服を変えることになったようです。しかし、ここ最近日本の気候が変わってしまったせいもあり、三滝中学校でも 10 月 1 日から冬服になる習慣をほとんど見られなくなりました。

今年は 2 学期のスタートが遅れ、何となく季節を感じにくくなっています。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、

今年は彼岸花が咲くもの例年より早く、彼岸の中日である 秋分の日には 四日市では感じます。だんだん日が暮れるが早くなり、また部活終了と完全下校の時間がだんだん早くなり、季節の移ろいも感じるものです。

しかし、部活動が停止している今、それすら感じにくくなっています。

今週から 1 日 6 限の通常通りの授業が再開されました。今やすっかり定着した感のある、「黙食」。昼食の時間は本当に静かです。国語辞典にも載っていませんが、何年か後の改訂では、その言葉も載せられるかもしれません。

そんなわけで今日から 10 月、そして月曜日からは中間テスト。いまいちピンときませんね。例年であれば、中間テストが終わり、運動部は新人大会に向けて練習にも熱が入り、それが終わる学校は合唱練習の取り組みが始まる……。



東京五輪 200m 個人メドレー 4 位の瀬戸大也 (左) と 6 位の萩野公介 (右)